



斯哥子美中田

連丸立と乙家旗の式子と乙家散歩(歩行訓練)



あなたのお話を、お聞かせください！

「Well Beeing」は読者の皆さんと一緒につくっていきます。
"こんな情報がほしい" "こんなことを掲載してほしい" という
ご要望がありましたら「Well Beeing」編集室まで、ぜひお気軽に
お寄せください。

掲載原稿募集のお知らせ

テーマ："私が子どもだった頃"400字程度、年代、性別を問いません。
※無記名希望の方は、その旨記してください。

連絡先

〒359-1141 所沢市小手指町1-13-23
シルバーネットビー[Well Beeing]編集室

ポストインで
お願いします！

企画・編集 田中 淳一 <編集長>堀越 郁子
デザイン CHIHIRO
表紙(イラスト) TAKUMI
発行 株式会社シルバーネットビー
通所介護事業所<デイサービス>
デイサービスセンター小手指
シルバーネットBeeデイサービスセンター
訪問介護支援事業所<ホームヘルプ／ヘルパー派遣>
居宅介護支援事業所<ケアマネジャー／介護相談>
〒359-1141 所沢市小手指町1-13-23
〒359-1141 所沢市小手指町1-13-28
電話番号: ☎0120-978-023
FAX番号: 04-2939-8900
ホームページ <http://silver-net-bee.com>
発行日 2014年1月1日 第十四号



謙ひ合ひ方席で案山子の立場から見ると、KGNは他のIT企業と比較して、多くの点で差異がある。まず、IT業界では「技術力」と「実績」が重視されるが、KGNはどちらも乏しい。また、KGNは「IT」を主軸とした企業であり、他のIT企業とは異なる文化や価値観を持つ。そのため、KGNの社員は、他のIT企業の社員よりも、より柔軟な思考や行動をする傾向がある。しかし、一方で、KGNの社員は、他のIT企業の社員よりも、より実践的な思考や行動をする傾向がある。つまり、KGNの社員は、他のIT企業の社員よりも、より実践的な思考や行動をする傾向がある。

27114-4

Well Being 幸福、福利、健康 Well Beeing 元気でいこうよ

Well Beeing



Well Beeing

手助けしたりされたり

疾風とともに

行ってきました、さいたまクリテリウムbyツールドフランス。(前回のおさらい…クリテリウム:市街地で行われる周回コースを走る自転車レースのこと)、欧米では街中を走る迫力と選手との距離の

近さから大変人気がある。)今回のさいたまクリテリウムは、ツールドフランスの主催団体が国外で初めて手掛けたイベントで、例えるならば"はじめての大相撲パリ巡業"のようなものでしょうか。さいたま新都心のど真ん中に、20万人を超える観客が会場に詰めかけ、季節外れの台風はスタート時間を狙いましたかのように通り過ぎ、青空が覗くなかでのレースとなりました。1周2.7kmのコースのため、5分もせずに選手たちが目の前を通過し、一緒に通り過ぎる風は疾風そのもの。生で感じるこの迫力に最初は遠慮がちだった歓声は次第にボルテージを増し、選手も観客も一体となってレースを楽しむことができました。

RinGO

.....観戦後記.....

敢闘賞を獲得した別府選手はレースで見せ場を作った直後にマシントラブルに遭い、上位入賞は果たせませんでしたが、メカニックによると、1シーズン乗り込んだその自転車は、競技の過酷さを物語る凄まじい状態で、「よくあれだけ走れたな…」とのことでした。



選手を待ちわびる大観衆

自転車物語⑧

vol.14
<2014.1月号>

SILVER-NET
Bee



教えていただきながら

ヘルパーの資格を取ろうと思ったのは、まだ若かったお母様が病気になり介護が必要になったことがきっかけだそうです。"妹と二人で介護にあたりましたが、どうしたら良いのか戸惑うことが多かったです"より良い介護の仕方を学ぶため、専門知識を得ようと妹さんと相談して交代でヘルパーの資格を取ろうと決めました。"母には間に合わなかったのですが、代わりにどなたかのお役に立ちたいと思いました"資格を得てから最初に仕事に就いたところが分業でしたので、ご利用者のすべてにかかわりたいと思いこちらに移りました。"ちょっと目を離して危ないことがないように気を配りたいと思います"分業で得られなかった経験は、先輩達が丁寧に教えてくれるので有難いです、と安心の笑顔をみせてくれた木村さんを紹介しました。



木村です
私がお手伝いします!

海外の蚤の市をまわって

内山元子(もとこ)さんが年2回海外の蚤の市をまわり、自分の好きなものを集めて8年前から開いているBRIKIKKAは、さまざまなアンティック雑貨で埋められた空間が柔らかな雰囲気を醸しだしています。"鉄、ブリキ、アルミの工業製品が好き"な内山さん手づくりのシフォンケーキを提供するカフェも併設されています。

BRIKIKKA <ブリキッカ>

狭山市入間川14-14-6 ☎04-2953-6351 営業日:毎週木、金曜日 12:00~19:00

ご利用者 寄稿 職員

私が子ども
だった頃

或る正月

立彦さま (67歳)

60年前、お歳玉100円札一枚握りしめ、石神井公園駅発…新宿伊勢丹行きの関東バスに乗り、同行は仲良しのヒロカズ君、彼はお歳玉いっぱい持つて来たらしく何があっても安心。小さな帽子をヘアピンで耳の上に止めたきれいなバスガールに、首に下げた黒革のガマ口から片道25円で切符にハサミをいれてもらう。伊勢丹ではエレベーターガール横目に登ったり降りたり。あきたら人波に乗り唯一停留所の判る西口広場へ。物乞いの親子など地べたに座る駅前ガードを潜り、しょんべん横丁の"若月"で1パイ35円のラーメン喰べ「石

井の長谷川の經濟ラーメン(1パイ25円だった)だったら10円もうかったのにネッ」など云いつつ。西口には軍帽に黒マスク、白衣、茶皮の義手義足、ハモニカにアコーディオンなど沢山の傷痍軍人、赤土の広場西側眼下には淀橋の浄水場が見え、遠くに夕映えの赤富士と黒影の丹沢山塊、広場には猿廻し、角兵衛獅子、同世代の妙に小振りの少年少女を見て、なぜか切なく、物悲しく、早くバスに乗って帰りたくなってしまった。

